

留萌管内

保健師



看護職になるための道しるべ(看護政策系のページ)

北海道医療人材確保ポータルサイト

資料 7-2



ホームページ

留萌市
RUMOI



お問合せ先
TEL:0164-49-2558

ホームページ

増毛町
MASHIKE



お問合せ先
TEL:0164-53-3111

※増毛町では現在保健師の募集は行っておりません。

「その美しさに息を呑むほどの夕日と世界三大波濤のまち」でお馴染みの留萌市では、20代から50代までの保健師が明るく元気に働いております。

市内には「0歳児保育」や「学童保育」があるため、産休や育休を活用しながら、仕事と家庭の両立も可能であり、療育機関や医療機関などの社会資源も整っているため、さまざまな関係機関とケース支援や事業展開できるのもこのまちの魅力です。

「るもい呑涛まつり」、「うまいよ！るもい市」など市内で行われるイベントも活発に行われているなか、2020年には道の駅がオープン、屋内交流・遊戯施設「ちやいるも」なども建設され、現在はモンベルアウトドアヴィレッジるもい構想の実現に向け、新しい観光資源にも力を入れています。

成長を続ける留萌市で働いてくれる新任保健師の方には、指導担当の保健師が丁寧な指導を行い、あなたのやりたいことをできる力を育てます。ご興味のある方は、お気軽にお問合せください！

【増毛町～豊かな食と元気をささえる健康の町～】

留萌管内の一番南の町。えびやたこ、ホタテなどの海産物、さくらんぼやりんご、ぶどうやお米などの農産物、最北の酒造『国稀』などおいしいものがたくさんあります。また、歴史的建造物が建ち並ぶ増毛駅前には観光名所の一つとなっています。



『だれもが住みたい・住み続けたい ふるさと増毛をめざして』をまちづくりのテーマとして、各種取組がされています。保健活動では、高血圧ゼロを目指して、健診受診、重症化予防のための保健指導、家庭血圧測定のススめ、町の減塩のシンボルである増毛醤油等の減塩の取組など、高血圧対策を重点に保健師・栄養士で取り組んでいます。

これからの課題はメタボ。健康課題の解決に向けて、学習しながら保健活動を行なっていきます。

留萌市は、北海道の北西部に位置し、日本一の生産量を誇る「かずの子」をはじめとした水産加工業が基幹産業であり、国の重要港湾を有する「みなとまち」です。

〔人口〕 17,710人
〔世帯〕 10,333世帯
※2025年10月末現在



保健センター



看護職になるための道しるべ(看護政策系のページ)

北海道医療人材確保ポータルサイト



小平町

OBIRA

ホームページ



お問合せ先
TEL:0164-56-2111

電話担当に「保健師の山本をお願いします」とお伝えください。

おびら町は留萌市まで車で約10分(ショッピングセンターなど色々あります)、深川市まで約40分の場所にあり、札幌直通バスも通っています。

ホタテ・メロン・トマト・お米・タコ・うに・牛肉など、山海の幸も豊富な町です。

現在保健師は20代～50代で4名(男性1名・女性3名)おります。(新任保健師プログラムもあります)

残業も月平均1～2時間程度と少なく、有給休暇も年間20日を完全取得できるので、プライベート時間もしっかりとれます。年末年始はもちろん、10連休以上も取得可能です。また、町の保健師として働くことで返済が免除される資金もご用意しています。

- ① 学生:修学資金(最高240万円)
- ② 学生および免許保有者:就業資金(最高120万円)



ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。



苫前町

TOMAMAE

ホームページ



お問合せ先
TEL:0164-64-2211

苫前町は、留萌管内の真ん中に位置する人口2千人台の町です。妊産婦から乳幼児訪問、乳幼児健診、特定健診、がん検診、地域に向いての健康教育などの活動を通して、町民の健康づくりと暮らしを支援しています。

- 赤ちゃんから高齢者まで幅広い世代とお話することが好きな人
- ～健診や家庭訪問など直接町民とふれあう機会が多いです
- 町民の健康について、仲間と考え支える仕事をしたい方
- ～異なる職種の職員が協力し合い町民の健康意識向上に取り組んでいます
- 学びと経験を融合させ、ステップアップしたい人
- ～業務は説明・見学からスタートし少しずつ着実に力をつけていきます
- ～新任期保健師プログラムにより現任教育を行います
- 田舎が好きで、新鮮な野菜や海産物が好きな人
- ～とままえには漁業・農業・酪農業があります



町の保健師として就職すると、「奨学金返還支援事業」を活用できます。(年間36万円上限、最大10年間で360万円、年齢制限なし。こちらは民間企業から公的機関まで対象としています)。保健活動の内容や職場見学など「インターンシップ」の受付も行っています。



～オロロンライン～

留萌管内

保健師



看護職になるための道しるべ(看護政策系のページ)

北海道医療人材確保ポータルサイト



羽幌町

HABORO

ホームページ



お問い合わせ先
TEL:0164-62-6020

羽幌町～美しい離島とともに暮らす町～

羽幌町は、「天売島」「焼尻島」という2つの離島を有する夕陽の美しい町です。

○北海道で唯一離島の保健活動ができる！

羽幌町では、市街地に加えて、健診や訪問などの事業に応じてフェリーで島に渡り保健活動を行います。

このような保健活動ができるのは北海道では羽幌町だけです。島ならではの暮らしや文化を感じ、市街地とも異なる特色ある地域での保健活動ができる面白さがあります。

○チームで支える保健活動ができる！

保健師は20代から50代まで年齢バランスも良く、相談しやすい環境が整っています。職場には、管理栄養士、公認心理師、社会福祉士もおり、それぞれの専門性を生かしたチームアプローチができることも強みです。

○新任を支える丁寧な教育体制！

新任保健師にはプリセプターがつき、教育プログラムのもと3年間丁寧な指導を行います。職場内で、事例検討会や学習会を行うなど学び合う体制もあります。

☆職場見学(インターンシップ)も随時受け入れていますので、気軽にお問い合わせください☆

羽幌町健康支援課ではインスタグラムで健康や子育てに関することなどを配信しています。職場見学等気軽にDMでお問い合わせください



初山別村

SHOSAMBETSU

ホームページ



お問い合わせ先
TEL:0164-67-2211



現在初山別村の人口は約1,000人。

小さな村だからこそ住民との距離の近い保健活動が魅力です。

保健師は20代1名、50代2名で活動しています。新任保健師にはプリセプターがつき、新任教育プログラムを使った指導を行います。

母子から成人、高齢者まで幅広く保健活動できます。

村の様子、役場内の雰囲気、保健事業の見学、体験ができるインターンも随時受付中です。

綺麗な海、満点の星空、温かい人々に恵まれた小さな村“初山別村”で保健活動しませんか？

【保健師奨学金制度】

- ①学生:上限480万円
 - ②免許保有者:上限240万円
- (内定後、在学中に満額もらえます) *それぞれ償還免除規定あり

子どもの成長を肌で感じられる

保健師は住民さんにとって身近な存在

“村”だからこそできる保健活動のしやすさ





看護職になるための道しるべ(看護政策系のページ)



北海道医療人材確保ポータルサイト



遠別町



ホームページ
お問い合わせ先(福祉課保健指導課係)
TEL:01632-7-2111(代表)
7-2125(福祉課直通)
happy@town.embetsu.hokkaido.jp

認知症、精神的な不調、子育ての不安、孤立など、遠別町のように小さな町でも支援が必要な方が増えています。だからこそ私たちは、一人一人に丁寧に向き合い寄り添うこと、一人一人をエンパワーメントしていくことをモットーに活動しています。合言葉は「まずは実践してみよう!」...支援の積み重ねから生まれたアイデアや想いを形にし、実際にやってみることを大切にしています。先進的に進めている事業が「人生会議(ACP)」です。高齢化が進む遠別町では、地域で暮らす方々に「人生会議(ACP)」を積極的に広め、住み慣れた地域で安心して自分らしく生き続けられる環境づくりに取り組んでいます。これらの保健活動は、部署を超えて多職種が連携し、それぞれの専門性を生かしながら、「助け合い・協力しあう」風土の中で進められています。また、町民の皆さんは温かく、転入された方も自然に受け入れる風土があることも遠別町の魅力の一つです。「一人ひとりの声にきちんと向きあえる保健師でありたい!」...そんな想いをもち、私たちと一緒に挑戦し、地域を支えていく仲間をお待ちしています。あなたの力を是非、遠別町で発揮してみませんか。

現在、保健師は20代から40代まで5名が在籍しています。新人保健師にはプリセプターがつき、丁寧な指導体制を整えています。「まずは遠別町を知ってほしい!」という想いから、観光+保健事業見学体験+職員交流会を組み合わせた『3daysインターン』を実施しています。また、個別オリエンテーション(ZOOM等)も随時行っていますので、興味のある方は、お気軽にお問合せ下さい。

【就学資金貸付】
在学期間中月額40,000円
(返還免除の規程あり)

【就労奨励金】
1年以上勤務した場合、1年・3年・5年勤務終了後に、合計900,000円



天塩町



ホームページ
お問い合わせ先(福祉課ふれあい係)
TEL:01632-2-1728(福祉課直通)
※天塩町では現在保健師の募集は行っておりません。

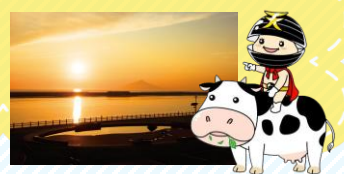
天塩町は留萌管内の一番北に位置している、人口約2,600人の町です。酪農と漁業が中心の自然豊かな町で、夕陽と利尻山が綺麗にみえます。3年目の保健師からみた天塩町を紹介します。

○現在担当している業務

天塩町は地区分担制と業務分担制をとっています。母子保健では、母子手帳交付から妊産婦・新生児訪問での個別支援や乳幼児健診などを担当しています。子どもたちの成長を近くで感じることができ、嬉しい気持ちになるのでやりがいのある仕事の一つです。成人保健では、がん検診などの検診関係と担当地区の個別支援(健診結果返却や保健指導)を担当しています。生活習慣病により腎機能が低下している重症化予防が課題となる事例では、身体を大事にしたいと思ってもらえるような関わりを継続したことで本人や家族の意識が変わり、減量と検査結果の改善につなげることができました。健診結果返却や保健指導は学習や準備など大変さはありますが、その分うまくいった時の達成感は大きく、自信にもつながっています。

○教育体制

天塩町は20代から50代まで8名の保健師がおり、新任保健師にはプリセプターがついています。プリセプター以外の保健師にも気軽に相談できる環境なので、1人で抱え込むことなく仕事できています。定期的に保健指導に関する学習会を実施しているので職場内で研修する体制も充実しており、私自身もそこで知識をつけて保健指導に活かしています。



○入職して感じた天塩町保健師の魅力

個別支援や高校生、高齢者などとの関わりの中で、天塩町は母子・思春期・成人期・高齢期と切れ目ない保健活動を経験できるところが魅力だと感じています。幅広い年代の健康を支える保健師としてライフステージを意識することにもつながっています。また、住民さんとの距離が近いことで多くのやりがいを感じられるところも小さい町だからこそ魅力だと感じています。

天塩町では、「健康てしお21」の計画を基盤とし、「誰もがその人らしくこの町で生活できる」ことを目指して全ての世代の健康づくりに関わっています。保健師一人ひとりの価値観や考え方を大切にしているので、様々な保健事業が展開されています。保健師の募集はしていませんが、保健事業の内容についてはお気軽にお問合せください。